

観桜会イベントで自衛隊の武装パレード強行



観桜会会場で、陸上自衛隊高田駐屯地によるパレードが強行されました。自衛隊音楽隊が先頭で演奏行進を行った後、迷彩服姿で小銃を携行した隊員約80人と装甲車列が続きました。災害派遣部隊などの車両は最後尾に続きました。

沿道にはたくさんの花見客がいましたが、中には小さい子どもたちや若いカップルも見物していました。桜の花と武装行軍は何とも似合わず、物々しさを感じさせるものでした。

自衛隊パレードについては、市はあらかじめ「威圧的にならないように銃は控えてほしい」と求めていました。また、4月16日、日本共産党などの政党、市内各労組、「花見に銃は似合わない」弁護士有志の会などの市民団体、計14団体(下記参照)は、「家族で楽しむ観桜会に自衛隊の武装パレードはふさわしくない」「非核平和友好都市宣言の趣旨

に反する」「せめて小銃の携行や装甲車両などの威圧的なものはやめるべきだ」と指摘し、市から再度自衛隊に申し入れることを要請していました。

しかし、市は、14団体からの申し入れに対して、4月18日に、「なんら問題はないので再申し入れはしない」と回答しました。

市は、自衛隊に対して事前に「威圧感を与えないように、銃は控えてほしい」と求めていたにもかかわらず、「なんら問題はない」とはどういうことか、理解に苦しみます。

パレードの確認は、橋爪議員団長と上野議員が行いました。



16日の申し入れ

観桜会開催中の陸上自衛隊武装パレードに対する抗議声明

上越市は本日午前、私たち14団体の、「観桜会開催中の陸上自衛隊武装パレードを中止せよ」という要請にもかかわらず、パレードを強行した。パレードでは隊員が迷彩服を着て、小銃を携行し行軍、その後に装甲車両が続いた。これは観桜会の平和のイメージとは相いれないものであると同時に市が平成7年に行った非核平和友好都市宣言の主旨に反するものである。

今回のパレードにあたって市は、自衛隊に対して、市民に威圧感を与えないよう小銃の携行などを控えるよう求

めたというが、「一定の配慮をしてもらったので再度申し入れはしない」と16日夕方、私たちに回答してきた経過がある。今回のパレードは小銃携行、装甲車付きで威圧感たっぷりのパレードとなった。市民に威圧感を与えないようにという配慮を求めるならば、観桜会でこのような武装パレードは行うべきではなかった。私たち14団体は、今回のパレード強行に強く抗議する。

提出団体

上越地区平和環境労組会議

上越地区労働組合総連合
社民党上越協議会
日本共産党上越地区委員会
新社会党上越総支部
「花見に銃は似合わない」弁護士有志の会
上越9条連
新日本婦人の会上越支部
日本国民救済会上越支部
上越市平和委員会
年金者組合上越支部
原水禁上越支部
えちごユニオン
憲法9条上越ネットワーク



小川末明

「野ばら」の石碑

自衛隊の武装パレードをみでの帰り道。大手町小学校のグラウンド一角にある「野ばら」の石碑。心が洗われる思いでした。

日本共産党上越市議員団ニュース

No.407 2014年4月27日

連絡先

橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)